

丸協にゆーす

- 丸協トピック

『第3回関西物流展』出展いたします！

『丸協運輸 創業55年を迎えます』・
『関西とっとりPRサポーター』

- 今、知っておきたい物流topics

『2024年問題を踏まえ、持続可能な物流を』

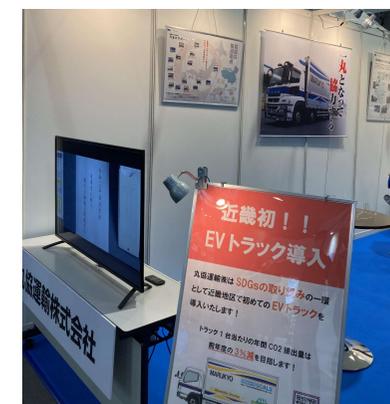
丸協運輸は 第3回関西物流展に出展いたします!



物流業界の生産性向上や環境改善につながる
製品・技術・サービスが一堂に集結する総合展示会

第3回 **関西物流展**

3回目の出展になります。
今回は、SDGsや24年問題など
ハード面、ソフト面からお客様
のお役に立てる丸協運輸の物流
コンサルのご紹介を中心に、
丸協運輸のできることが
一目見てわかるようなパネル
を準備しております。



前回 第2回関西物流展
での様子

会期:2022年6月 **22**日(水)・**23**日(木)・**24**日(金)

10:00~17:00(最終日24日のみ16:00まで)

会場:インテックス大阪 6号館A・B

公式HPリンク「第3回関西物流展」(<https://kansai-logix.com/>)



丸協運輸は 2022年6月20日で**創業55年**を迎えます。

次の5年、10年を目指して、更に丸協運輸が成長していけるよう、従業員全員が、一丸となって協力し、いい会社を作って参りましょう！

この度、鳥取県関西本部様より、渡部智社長へ『**関西とっとりPRサポーター**』の委嘱状が手渡されました。

このサポーターは、必要に応じて、鳥取県の紹介および宣伝活動を行います！

委 嘱 状

丸協運輸株式会社
代表取締役社長
渡部 智 様

関西とっとりPRサポーターを
委嘱します

令和4年5月26日

鳥取県関西本部長 高務 裕子



今、知っておきたい物流topics

2024年問題を踏まえ、持続可能な物流を

2024年4月より、トラックドライバーの時間外労働について罰則付き上限規制が始まります。丸協運輸では対策は完了していると聞いていますが、これはかなり先進的状態です。先日、物流事業者の集まる講習会では9割の参加者が「2024年問題対応に不安がある」と回答していました。

2024年問題は運送事業者の問題であると同時に荷主にとっても大問題です。ところが荷主においては、よほど物流に関心の高い企業でなければ、知らない人もいる状態です。もし、そのような荷主がいたら、しっかりと状況を伝えて頂きたいと思います。



味の素の堀尾物流企画部長は「24年度末になる前にドライバーがみんな年間の時間外労働上限をオーバーしてしまう」ことを最も恐れています。こうなればドライバーは働けず、トラックがあっても運べなくなってしまうからです。

このような事態を避けるためには、まず、待機や検品、荷役など運行以外の時間は極力削り、1日の拘束時間が11時間30分を超えないようにすることです。

また、ドライバーを魅力ある職業として雇用を確保していくため、運賃を上げていくことも検討すべきです。そのために「標準的な運賃」が定められています。荷主に対しては、運賃が上がってもトータルの物流コストがあがらないような工夫を提案し、共に**持続可能な物流体制の構築**の整備に取り組むべきといえます。